

松嶋夜話 卷之上 4

〔原文〕誓願寺如来、佛工稽文會稽主薰者造之

〔訓読〕誓願寺の如来、佛工稽文會、稽主薰といふ者造る

※稽文會：奈良時代の仏師。神亀四年(七二七)供養がおこなわれた大和(奈良県)長谷寺の十一面観音像をとともにつくったとされる。

※稽主勲：奈良時代の仏師。神亀二年(七二五)四月八日、大和長谷寺の十一面観音像を稽文會とともに造ったと伝えられる仏師であるが、信をおきがたい。

※之

〔原文〕二工河内春日邑人也

〔訓読〕二工は河内春日の邑の人なり

〔原文〕半陶稟八百餘歳春日明神所作云

〔訓読〕半陶稟、八百餘歳、春日明神の作る所と云う

※半陶稟：半陶稟？ 彦竜周興の文集。

彦竜周興(一四五八―一四九二)：室町時代中期の禅僧(臨済宗夢窓派)。諱周興、字彦竜、別に半陶子・陶庵と称す。

〔原文〕振古轉誤矣

〔訓読〕振古轉誤す

※振古：昔より、いにしえ